

事業者選定基準

1 目的

本基準は、阿賀野市笹神体育館再生可能エネルギー設備等導入事業に係る公募型プロポーザルを実施するにあたり、優先交渉権者及び次点交渉権者を選定するための基準について、必要な事項を定めることを目的とする。

2 審査方法等

- (1) 一次審査及び二次審査それぞれにおいて、阿賀野市笹神体育館再生可能エネルギー設備等導入事業に係る公募型プロポーザル審査委員会委員（以下「委員」という）7人が、提案者の提案内容について採点し、委員ごとに得点を決める。
- (2) 一次審査では、二次審査を実施する提案者を選定するため、委員ごとの得点を合計した総得点が多い順に、上位3者を選定する。
ただし、参加者が3者以下の場合であっても審査を実施する。
- (3) (2)により選定した者で二次審査を実施する。優先交渉権者、次点交渉権者の選定に当たっては、一次審査と二次審査の総得点を合算し、その合計点が最も多い提案者を優先交渉権者、次に多い提案者を次点交渉権者とする。
- (4) (2)及び(3)において、点数が同点の場合は、見積額が低い提案者を上位とする。
- (5) 参加者が1者の場合は、一次審査と二次審査の総得点の合計の平均点が180点以上（総300満点中の60%以上）でなければ交渉権者として認めないものとする。

3 一次審査(配点：200点)

- (1) 審査内容：企画提案書、類似業務実績一覧、見積書、見積明細書による審査
- (2) 評価基準：以下のとおりとする。
A：非常に優れている B：優れている C：標準
D：劣っている E：非常に劣っている

番号	審査項目	評価ポイント	評価基準				
			A	B	C	D	E
1	実施体制等	<ul style="list-style-type: none">・業務の実施体制、設備導入実績等について、具体的な記載がされているか。・設備導入実績について具体的に記載されているか。・補助金申請業務に対する協力、支援体制は明確に記載されているか。	20	16	10	4	0

2	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務並びに環境省の「地域レジリエンス事業」の趣旨を理解した内容になっているか。 ・アリーナの天井(特定天井)を改善し、断熱性が現状以上の安全な天井となっているか。 	20	16	10	4	0
3	導入設備の平時おける役割	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的かつ適切な保守管理・活用が見込まれ、定量的なCO2削減効果が示されているか。 ・導入設備は、運動施設・競技施設としての用途を考慮し、適切な照明環境を確保されているか。 	40	30	20	10	0
4	導入設備の災害時における役割	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における対象施設の役割、機能が果たせるようなシステム構成になっているか。 ・導入設備は、避難所となることを想定し、適切な生活環境を確保できるようになっているか。 	40	30	20	10	0
5	エネルギー起源CO2排出削減効果	<ul style="list-style-type: none"> ・対象設備のCO2削減量(t-CO2/年)、削減率(%)、並びに削減根拠が明記されており、現実的に達成可能なものであるか。 	40	30	20	10	0
6	価格及びスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・導入設備の耐用年数期間全体において、導入設備のシステム価格、運用コスト等が削減効果の高いものになっているか。 ・事業スケジュールについては、地域レジリエンス補助事業の採択要件に合致したスケジュールになっているか。 ・工事の手法及び工程が、アリーナの使用制限期間を圧縮する内容になっているか。 	30	24	15	6	0
7	独自提案	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に記載のない事項について、市にとって有益となる独自の提案がされているか。(地域への貢献、地域レジリエンス強化、市民への訴求につながる内容がふくまれているか。) 	10	8	5	2	0

4 二次審査(配点：100点)

(1) 審査内容：プレゼンテーション及びヒアリング等

(2) 評価基準：以下のとおりとする。

A：非常に優れている

B：優れている

C：標準

D：劣っている

E：非常に劣っている

番号	審査項目	評価ポイント	評価基準				
			A	B	C	D	E
1	技術提案	・審査員に分かりやすい説明を行ったか。	20	16	10	4	0
		・企画提案書とプレゼンテーションでの説明との整合性があるか。	40	30	20	10	0
2	業務への熱意	・本業務に取り組む熱意が感じられるか。	20	16	10	4	0
3	業務への理解	・本業務を実施する上での課題や問題点を把握しているか。	20	16	10	4	0